

週間国際経済 2025 (4) No.410 03/01~03/13

- 03/01・トランプ関税、米景気に影 原材料費上昇 インフレ再燃懸念
・トランプ氏「150兆円規模に」 ウクライナ資源、米企業開発と主張
レアアース、ロシアの支配地に 採算は不透明
・米、英語を公用語へ 他言語話者の支援義務撤廃
- 03/02・対ロシア譲れず決裂 米ウクライナ、協定署名見送り (2/28) 停戦交渉に影響
嫌悪と懐疑 口論に拍車 バンス氏が口火
- 03/03・スターマー英首相 英仏ウクライナで停戦案 4首脳合意 策定後に米と協議へ
・クルド勢力「停戦」宣言 トルコ政府と 指導者、獄中から指示 対立40年
- 03/04・欧州、強まる安保責任論 国防費増で首脳一致 有志国連合の派遣協議 <1>
ウクライナ支援 米つなぎ留め狙う 欧州主導の平和維持に壁 人員不足「常時15万人必要」
- 03/05・トランプ政権 カナダ・メキシコ関税発動 25% 同盟国も標的 <2>
対中国、10%上乘せ 中国、米農産物に最大15% 報復関税、カナダも25%
・米、ウクライナ武器供与停止 EU、防衛強化に125兆円案
・「日本は通貨安誘導」トランプ氏が言及 円急騰、一時148円台 <3>
・NY株、2日で1300ドル安 関税「貿易戦争」を警戒 消費懸念で小売株下落
・「GDP比3%に」米国防次官候補 防衛費増額 日本に要求
- 03/06・トランプ氏施政方針演説 (3/4) ウクライナと再交渉へ 資源協定巡り
相互関税「来月2日」再表明
・中国、歳出拡大25兆円 「5%前後」成長へ下支え 全人代閉幕 保護主義を批判
・米、車関税1ヶ月猶予 カナダ・メキシコに25% 日本勢にも適用か
・米、関税でインフレ懸念 地区連銀報告「価格転嫁の動き」
・仏「核の傘、欧州に拡大」 マクロン氏、議論入り表明 <4>
欧州、対ロシア独自防衛策 NATO安保に危機感
- 03/07・欧州「再軍備」で金利急上昇 財政ルールの緩和警戒 <5>
・米貿易赤字 過去最大に 1月 「トランプ関税」前駆け込み
・米国株、下落トップは「消費」 物価高と景気悪化の共存警戒 報復関税にもリスク
関税混乱、NY株427ドル安 米政策見通せず 日経平均一時800円安
・欧州中銀0.25%利下げ 5会合連続 総裁、「一時停止あり得る」
・米、車以外も関税猶予 カナダ・メキシコ 来月2日まで
・米人員削減2月急増 DOGE影響 17万人うち連邦職員6万人
- 03/08・米雇用、15.1万人増 2月 失業率は4.1%に上昇
・高額療養引上げ見送り 首相、負担限度額めぐり表明 秋までに方針決定
・米関税、産業界振り回す 発動直後に猶予 車3社、救済措置要請
・「第2プラザ合意」戦々恐々 ドル高是正には高い壁 <6>

- ・ EU「再軍備」、米つなぎとめ 首脳会議 (3/6) 130 兆円で合意
 - ・ 米財務長官が初講演 中国の過剰供給「関税で押し返す」
 - ・ トランプ氏、イラン指導者に書簡 核問題、交渉呼びかけ
 - ・ メキシコ自動車輸出 2ヶ月連続の大幅減 関税回避へ米に生産移転
- 03/09・米3月利下げ見送る公算 FRB議長「雇用堅調」に自信
- ・ 米株1週間で1039ドル安 政策リスク、相場の重荷に
 - ・ 韓国、尹大統領が釈放
 - ・ マスク氏と閣僚衝突 人員削減、ルビオ氏ら口論 トランプ氏が仲裁
 - ・ 経常収支、2年ぶり赤字 1月2576億円、貿易赤字拡大 <7>
 - ・ 実質賃金1月1.8%減 3ヶ月ぶりマイナス 物価上昇大きく
- 03/11・長期金利、一時1.575% 08年10月以来 国債、買手不足鮮明に
- ・ 中国報復、米農業を直撃 追加関税発動、綿花や大豆軒並み安 <8>
トランプ氏票田、標的
 - ・ カナダ首相、9年ぶり交代へ カーニー氏、米に対抗姿勢 関税・物価高、解探る
 - ・ NY株一時1100ドル安 トランプ氏、景気後退否定せず <9>
米経済に「移行期間」、関税めぐりトランプ氏 日経平均一時1000円安
 - ・ 米関税、除外言質取れず 鉄・アルミ 経産相 米商務長官らと会談
 - ・ テスラ株、一時16%安 ピークの半値 米欧で不買運動
- 03/12・「関税不況」警戒マネー収縮 トランプ氏「短期の痛み」日米株下落 <10>
- ・ テック7社時価総額 減り幅最大 「米経済に過渡期」波紋 トランプ氏発言
堅調景気に疑心呼ぶ
 - ・ トランプ氏 対カナダ50%中止か 半日で方針転換
- 03/13・米、鉄鋼・アルミ25%関税発動 22兆円市場に値上げ圧力
- ・ 米車大手最大4%減益 EU・カナダが報復関税へ
 - ・ ウクライナ、停戦案同意 30日間 軍事支援再開へ米に譲歩
 - ・ ウクライナ停戦、米ロ協議 「実現はロシア次第」 トランプ氏、側近を週内派遣
 - ・ デンマーク重視派第1党 グリーンランド議会選 トランプ発言反感招く
 - ・ カナダ、7回連続利下げ 0.25% トランプ関税に危機感
 - ・ FRB副議長にボウマン氏 金融監督担当、銀行規制に反対 米報道

<1>

欧州首脳が安保強化策を協議した

スターマー 英首相	ウクライナの安全を保証する有志国連合を創設する。いくつかの国が参加の意向を示した
フォンデアライエン 欧州委員長	欧州の再武装を。6日のEU首脳会議で包括的な計画を示す
ルッテ NATO事務総長	会議で新たな発表を聞いた。より多くの欧州の国が国防費を増額する
トゥスク ポーランド首相	ロシア凍結資産の「本体」没収を

(注)いずれも2日の発言

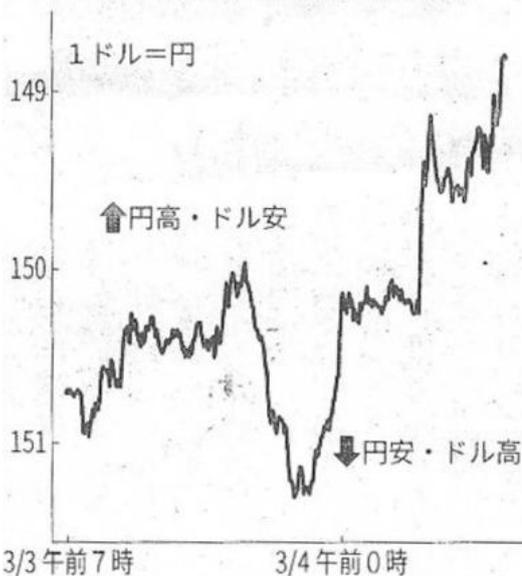
<2>

第2次トランプ政権の関税政策

関税の種類	概要	現状	
国・地域別	カナダ・メキシコ	全輸入品に25%の関税	4日発動
	中国	全輸入品に対する追加関税を20%に引き上げ	4日発動
	EU	全輸入品に25%の関税か	近く公表
品別	鉄鋼・アルミ	全ての製品に25%の追加関税を適用	12日発動予定
	自動車	25%程度の関税を適用か	4月2日発表?
	農産品・半導体・医薬品	詳細不明	4月2日発表?
全世界対象	一律関税	全ての国からの輸入品に10~20%	検討中
	相互関税	貿易相手国と同水準まで関税引き上げ	導入指示

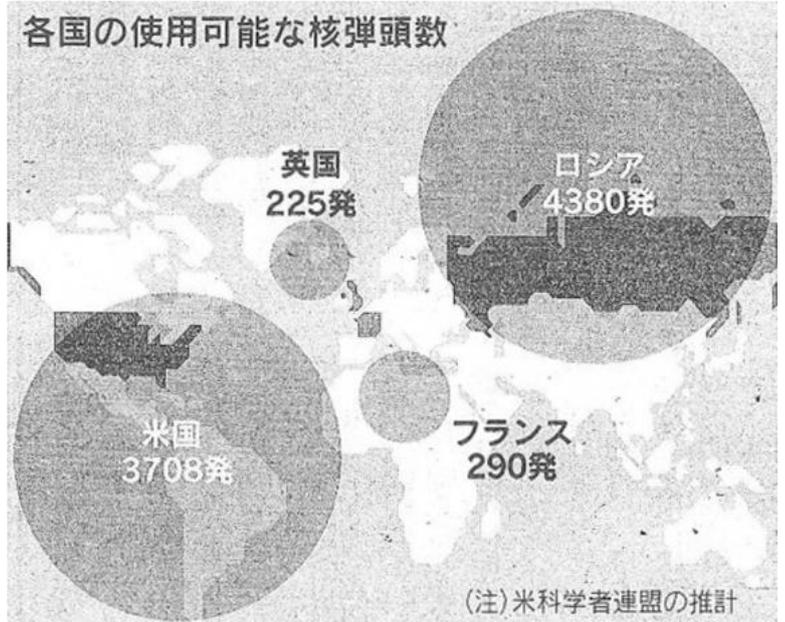
<3>

3~4日に円相場は急上昇



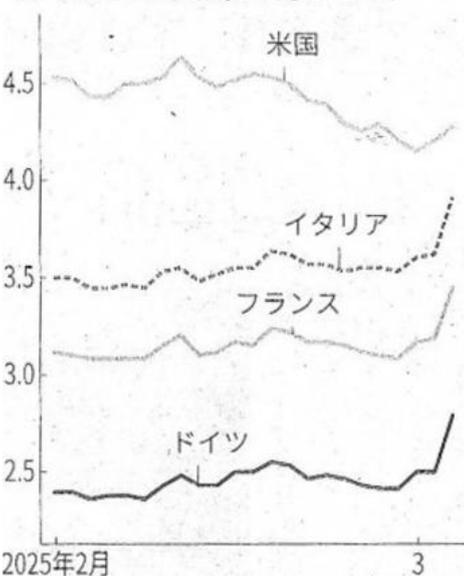
<4>

各国の使用可能な核弾頭数



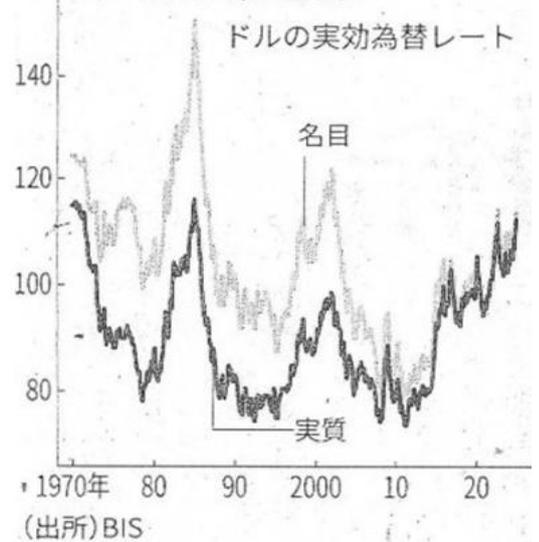
<5>

欧州の長期金利が上昇



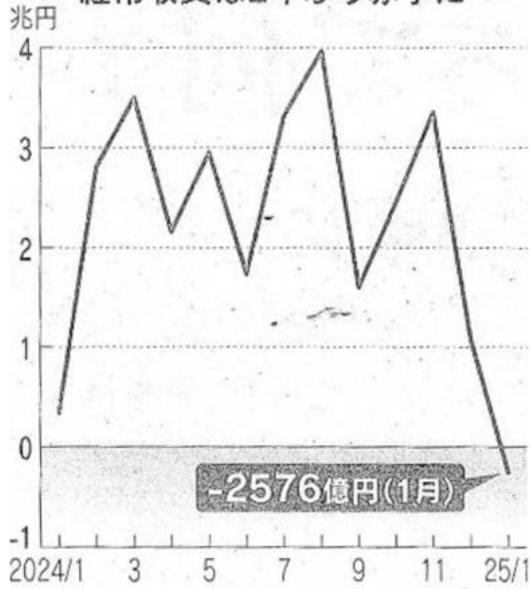
<6>

実質ではプラザ合意前並みのドル高に



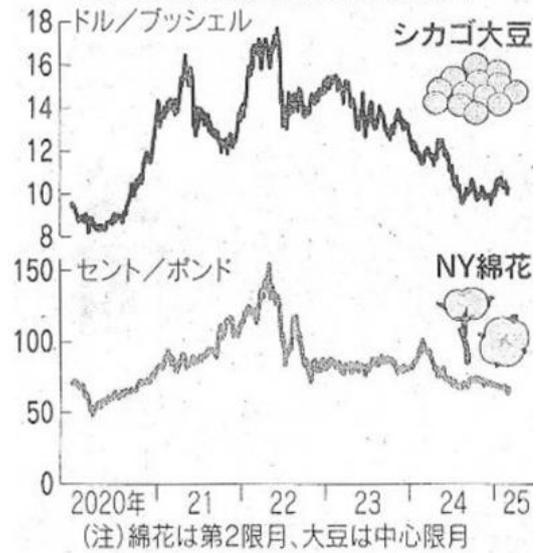
<7>

経常収支は2年ぶり赤字に



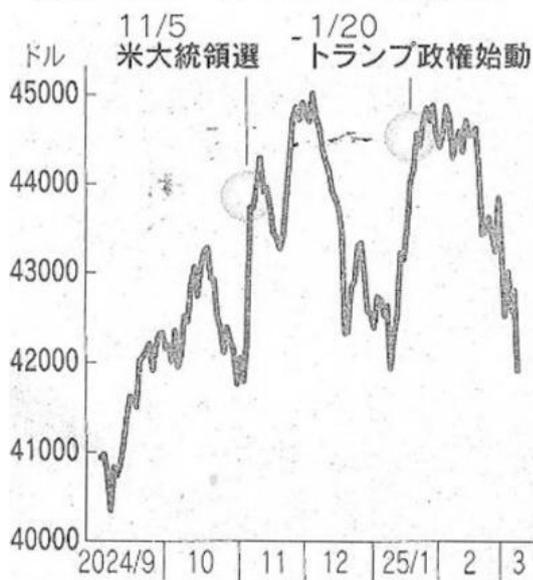
<8>

関税合戦で価格下落圧力増す (米主要農産物の先物価格推移)



<9>

NYダウは一時1100ドル超安に



<10>

